

広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

10月号

No.222 (R7.10.10)



10月8日 入れ歯の日

「い(1)れ(0)ば(8)」の語呂合わせで、入れ歯や差し歯、
歯科技工の技術に感謝を込めて1992年に制定されました。

Check it out!

クリスマスパーティー	1
令和7年度 学校歯科医協議会 開催のお知らせ	2
行事報告	
第1回 広島市・岡山市歯科医師会役員連絡協議会	3
令和7年度 第1回 学術講演会	3
支部だより	
中区支部	4
東区支部	5
南区支部	7
西区支部	8
ちよつとイイ話	
休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	8
広島市歯科医師会 総務部ニュースレター 医院の仕舞い方 ～ 令和の歯科医師・終活のススメ ～(総務部)	9
口腔がんアルミノックス治療(学術部)	10
広島市歯科医師会会員紹介(厚生部)	11
～ハハ姉妹の学校ニュース《30時間目》「カミング 30(ひ・み・こ・の)」～(地域歯科保健部)	12
会員ひろば	
新入会員紹介	12
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会より 「こんな医療トラブルが起っています」(総務部)	13
アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業へのご協力について(地域歯科保健部)	13
高齢者いきいき活動ポイント事業に関するお願い(地域歯科保健部)	14
今月の知っておきたいこと(広報部)	14
YouTube(広報部)	16
FM ちゅーピー(広報部)	16
会長コラム お隣	17
9月定例理事会報告	18
LINE 公式アカウント 友達募集	19



被災時や緊急時の会員安否確認のための

LINE 登録お願いします!!

現時点での登録者数 197/439人 2025.10.2現在





Merry Christmas



令和7年 広島市歯科医師会

クリスマスパーティー



日時：2025年12月20日(土) 18:00～

場所：ANA クラウンプラザホテル広島

今年は インストゥルメンタルデュオ



大瀬戸千嶋 さん



院内忘年会にぜひ！！
ご夫婦、ご家族でもぜひ！
お申込みは**次回11月号**にて

豪華景品が当たる**抽選会**あり★
子供向けの景品もあります！！



令和7年度 学校歯科医協議会 開催のお知らせ

今年度の学校歯科医協議会を、安芸歯科医師会の新谷宏規先生をお招きし、下記の日程および内容にて開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時： 令和7年11月27日（木）午後7時
場 所： 広島県歯科医師会館 2F 「ハーモニーホール」
内 容

1. 退任学校歯科医および退任保育園嘱託歯科医への感謝状贈呈
2. 新任学校歯科医および新任保育園嘱託歯科医の紹介
3. 講演会

演 題 「もう一步踏み出す学校歯科保健へ」

講 師 一般社団法人 安芸歯科医師会 新谷宏規 先生

4. その他



※開会は午後7時となっております。お間違えのないようお願いいたします。

※ご出席のお申し込みは、同封の用紙をご使用ください。

※本講演会は本会会員診療所に勤務するスタッフの方にもご参加いただくことができます。



広島市歯科医師会 Instagram、Facebook、YouTube、
に投稿しておりますので、是非ご覧ください！！



登録ならびにいいね！お願いします☆

行事報告

第1回 広島市・岡山市歯科医師会役員連絡協議会

日時：9月6日(土)午後7時30分

場所：「瀬戸内味覚処 芸州 ミナモア店」

広島市と岡山市の市民の保健・医療・福祉の向上及び歯科医師会相互の発展向上に寄与することを目的として、今年度より標記会を開催する運びとなった。瓜生賢本学会長、横山尚史岡山市歯科医師会会長の順で挨拶を行い、出席者紹介の後、協議事項として以下の協議を行った。

(1)広島市・岡山市歯科医師会役員連絡協議会規約について

(2)十四指定都市歯科医師会役員連絡協議会対応について

(3)令和10年度指定都市学校保健協議会について

今回は本会が主催で、執行部からは瓜生会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事、土屋崇文理事が出席した。大変和やかな雰囲気の中、ざっくばらんに話し合い懇親を深めた。これを機に、今後さらに密な連携をとっていくことを確認し閉会となった。

(執筆者：森本慎樹)

令和7年度 第1回 学術講演会

日時：9月19日(金)午後7時30分

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

今回の学術講演会は、管野貴浩島根大学医学部医学科・大学院医学研究科歯科口腔外科学講座教授に「口腔外科手術のコツと最近の口腔外科治療の最前線」と題してご講演頂いた。

講演では、抜歯、歯根端切除、舌小帯切除などの日常診療で知っておいた方がよい考え方やコツなどのお話があった。例えば骨膜剥離子は押して使用するものであって違う使い方をすることはあまり無いなどである。また抜歯に関して、歯根は屈曲しており、歯が抜ける方向はその根の屈曲により一方向であるので、他の方向には抜けることもない。それゆえ、ヘーベルを3秒以上使用して歯が動かない時は、何か他に原因があり、それ以上粘らず一旦冷静に考えることが必要、などをお話しされた。また、生体歯牙移植について9割以上は生着しているとのことなので、興味ある先生は連絡を取ってみたいだろうと思う。

後半は、管野教授のライフワークでもある事故や腫瘍等により、治療が可能なのかと思われるぐらい粉碎され

た顔面骨の再建の様子を供覧され、その高度な技術による治療結果に感嘆の声が上がった。

全般的に具体的な治療の説明は、実際の処置を録画した動画を元に説明されていたので聴講者はライブオペの感覚で学ぶことができ、講演会は盛会の内に終わった。

(執筆者：花岡宏一)



管野貴浩島根大学医学部医学科・大学院医学研究科
歯科口腔外科学講座教授

支部だより

中区支部

令和7年度 第1回 佐伯歯科医師会合同練習

日時：8月23日(土)午後7時

場所：廿日市市「昭北グラウンド」

本会の「中区」を主体とするメンバーで、強豪の「佐伯歯科医師会」と合同練習を行った。

当初、こちらの方においては様々な予定や行事が重なり、9人にも満たない状況での練習参加となったが、「佐伯」の理解とご厚情により、不足分のメンバーを借り入れることによって、試合形式の練習を行うことになった。

第1試合は、広島合同は後攻で、初回いきなりピンチを迎えるも、助っ人に入った佐伯の会員の好プレイと適切なアドバイスにより、なんと無失点に抑えることができたのである。このことは今後、今回参加できなかった広島市のソフトボール選手に伝授できればと思う。

第2試合は、こちらが先攻ということであったが、守

備に就いた時間の方が長いように思えた。しかし、エラ一等から得るものは、かなり勉強になることが多く、今後の練習に生かしていきたいと思った。

なおこの合同練習には、中区より波田佳範支部長、有田竜二氏、香川次郎氏、花木清隆氏、吉岡英将氏。南区から平井由美氏の6名が参加した。(執筆者：波田佳範)



練習の参加者

第3回 中区地域事例ネットワーク会議

日時：9月12日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

濱本千春 YMCA 訪問看護ステーション・ピース看護師の司会の下、「地域 BCP を考える」～その前に巨大地震発生！中区でどうする？～というテーマで、8班に分かれてグループワークを行われた。内容は、近未来の広島市中区に巨大地震(震度7)が発生し、公共交通機関等の大動脈はほぼ停止。多くの橋は交通不能。地盤には液状化現象が起こるという状況下で、2つの事例が挙げられた。

1つ目は、1戸建てに住む高齢母と知的障害をもつ息子の二人暮らしの事例、2つ目は高層マンションに住む、高齢の独居老人の事例が挙げられ、まず初めに被災後72時間に何が起こりうるのか。そしてそれぞれの職種で何ができるのかを検討していった。

それから、グループワーク発表へと移行し、それぞれの班でのファシリテーターから、様々な視点からの発表が行われた。

最後に、河面智之中区医師会副会長より総評が行われ会議を終了した。

なおこの会議には、中区支部より波田佳範支部長、森田薫氏が出席した。(執筆者：波田佳範)



左から波田佳範支部長、濱本千春 YMCA 訪問看護ステーション・ピース看護師、森田薫氏

令和7年度 第2回 佐伯歯科医師会合同練習

日時：9月13日(土)午後7時

場所：廿日市市「昭北グラウンド」

2回目の佐伯歯科医師会のソフトボールチームとの合同練習が行われた。この度は、本会からは、中区支部を中心に南区支部より若手選手が3名加わるという混成チームで臨んだ。

当日練習開始の時間帯には、大雨に見舞われるとの予報が出ていたが、幸いにも小雨程度で収まり合同練習には何ら影響が出なかった。

今回は、終始試合形式で行われることになり、試合前のジャンケンで、広島市チームが先攻を取り、試合が始まった。

初回、相手チームの隙をついて、6点という大量得点を奪うことに成功し、その裏ピンチを迎えるも何とか無失点に抑えることができた。次の回においては、試合の流れが、敵方に行きつつも、橋本佳子氏の好プレーにより、こちらに流れを引き寄せることが出来た。その後、有田竜二氏の本塁打をはじめとする、広島市チームの打棒が爆発し10点近いリードを保ち、終始こちらのペースで試合を進めていったが、50分を過ぎたあたりで、強豪

佐伯チームが実力を発揮し始め、南区の安達厚氏と小野裕貴氏の好プレーで対応するも、あっという間に追いつかれ、ついには逆転されるという結末であった。

しかし、強豪チームの胸を借りて試合ができたということは、前回以上に得るものが多く、参加した選手にとっては予想以上の収穫があったものと確信する。

なおこの練習には中区支部より、波田佳範支部長、有田氏、香川次郎氏、地守宏紀氏、橋本氏、花岡宏一氏、花木清隆氏、平田誠氏、吉岡英将氏。南区支部より、安達氏、岡崎文彦氏、小野氏が参加した。

(執筆者：波田佳範)



練習の参加者

東区支部

フェイスネット「TRITRUS」講習会

日時：8月26日(火)午後7時・9月17日(水)午後7時

場所：広島医師会館 3階「視聴覚室」

第1部「システム基本、ID 自動化について」では、株式会社カナミックネットワークの講師陣が、TRITRUS システムの特長や利用メリット、基本操作について詳細に解説した。

・システムの概要と特長：原田俊介株式会社カナミックネットワーク所長、松本幸広同会社係長、長谷川達哉同会社主任から、TRITRUS システムが地域医療・介護の多職種連携においてどのように役立つか、その機能やメリットについて説明があった。

・基本操作とハンズオン：ブック投稿、音声入力、便利機能の案内、投稿管理といったシステムの基本的な操作方法が分かりやすく示され、参加者は実際にテスト部屋への投稿を体験するハンズオン形式で実践的なスキルを

習得した。

また、オンライン申請によるID発行についても説明があった。

続く第2部「事例研究」では、TRITRUS システムの具体的な運用事例が紹介された。

フェイスネット運用紹介：高瀬真由美広島県看護師訪問看護ステーション「ひろしま」の看護師が登壇し、実際の事例を交えながら、地域でのフェイスネットの活用方法について講演があった。

これにより、参加者は多職種連携が地域住民の医療・介護にどのように貢献できるか、具体的なイメージを深めることができた。

【地域への貢献と今後の展望】今回の講習会は、地域

において多職種が連携し、住民の皆様の医療・介護を切れ目なく支えるための ICT システム「フェイスネット (TRITRUS)」の理解を深める貴重な機会となった。

なお、1 回目は新谷奈穂子支部長と丸川雅弘氏、2 回目は白神葉子副支部長、加藤正昭氏が出席した。

(執筆者：丸川雅弘)



講習会の様子

令和 7 年度 第 2 回 二葉圏域医療と介護・地域の多職種連携会議

日時：9 月 11 日(木)午後 1 時 30 分

場所：東区総合福祉センター 3 階「大会議室」

会議では、松本祐也東区地域起こし推進課員(防災担当)より、「『たちまち防災』。日頃から何を準備する？個人で。地域で。ハザードマップで学びましょう。」と題し、災害に備えるための日常的な準備の重要性やハザードマップの具体的な活用方法について、非常に分かりやすいご講演をいただいた。

続いて、石崎ゆかり広島赤十字原爆病院災害支援専門看護師からは、災害が起こった際の高齢者の状況や、日頃からの備えの重要性について、実際に災害支援に携わった経験に基づいた貴重なお話があった。

これらの講演後には、参加者によるグループワークと発表が行われ、多職種連携における具体的な課題や解決策について活発な意見交換がなされた。

参加者は、地域の防災力向上と高齢者支援のあり方に

ついて深く考察し、理解を深めることができた。

なおこの会議には、前島真紀子氏、丸川雅弘氏が出席した。(執筆者：丸川雅弘)



会場の様子

令和 7 年度 東区支部会および懇親会

日時：9 月 13 日(土)午後 7 時

場所：「よっちゃん京橋店」

東区支部主催による「令和7年度 東区支部会および懇親会」が、南区京橋町の「よっちゃん京橋店」にて盛大に開催された。

この会合は、新執行部発足後、初の開催となり、来賓として能美和基副会長、尾田友紀口腔保健センター長、向井明里同副センター長をお招きし、多くの関係者が参加し、親睦を深める貴重な機会となった。会場となった「よっちゃん 京橋店」は、鉄板焼きやお好み焼きが楽し

めるお店であり、参加者の皆様は美味しい料理と共に、和やかな雰囲気の中で会話を弾ませていた。

当日参加された方々にはお土産も用意され、細やかな心遣いが感じられる会となった。

地域の歯科医療に携わる皆様が一堂に会し、日頃の活動に関する情報交換や、今後の連携強化について語り合うことで、東区の歯科医療の発展に寄与する大変有意義な時間となった。(執筆者：丸川雅弘)



懇親会の様子

東区多職種連携の会～ひがしの絆～

日時：9月19日(金)午後7時

場所：「広島モノリス」

標記会が、広島市東区地域保健対策協議会(広島市東区医師会)共催により開催された。医師、歯科医師、薬剤師、病院関係者、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、デイサービス、地域包括支援センター、行政より100名ほどが参加した。川上洋介東区地対協理事(東区医師会理事)の司会の下、金谷雄生東区地対協会長(東区医師会会長)の挨拶に続き、沖政盛治東区地対協理事(東区医師会理事)が座長を務め、徳永道隆浄土真宗本願寺派延命寺住職の講演が行われた。

講演では、「医療と宗教のかかわり」と題して、徳永住職が臨床宗教師として、終末期に苦しむ患者が生死について考える場面において心のケアを通じて寄り添う活動が紹介された。身体的、心理的、社会的に大きな危機が訪れた時、人智を超えるものを希求する機能をスピリチュアリティといい、この時に臨床宗教師が患者の支えになる。どんな人生であっても、南無阿弥陀仏「これでいいのだ」という境地、「勝鬘經」網の目のようにすべての人はつながりがあり、お互いの縁で生きている話など、短い時間の中、深い内容を語られた。

美味しい料理やお酒をいただき互いの親睦を深める中、

次に八田比左子二葉地域包括支援センター看護師により、グリーフカフェ「Green Leaf」の紹介が行われた。年に数回東区総合福祉センターにて、大切な人を失った家族の悲しみをケアする場所として提供される。

最後に満田一博東区地対協副会長(東区医師会副会長)の閉会挨拶で終了した。

なお、東区支部より能美和基副会長、新谷奈穂子支部長、白神葉子副支部長、加藤正昭氏が出席した。

(執筆者：白神葉子)



講演の様子

南区支部

第3回 広島市南区医療介護多職種連携グループ災害時データ入力模擬訓練

(つながりが、私たちの備えになる～MCSを使った多職種訓練で、共助の輪を広げましょう～)

日時：9月9日(火)・10日(水)・11日(木)のうち指定の時間

場所：オンライン開催

広島市南区医療介護多職種連携グループで行う、SNSを活用した被災情報の入力訓練が行われた。災害時に慌

てずに、南区の医療機関・介護事業所・施設・行政・災害支援チーム同士が円滑に情報共有・連携できる関係づ

くりを目的とした訓練である。

なおこの訓練には、南区支部より上田裕次支部長、芥

川桂一氏、小田正秀氏、妹尾博文氏、中川誠氏、橋岡優氏、平井由美氏が参加した。(執筆者:上田裕次)

西区支部

令和7年度 西区支部納涼会

日時：9月13日(土)午後7時

場所：「越後酒房八海山広島駅前店」

平尾慶太前支部長、松原博久前副支部長の慰労会を兼ねた標記会が、広島市南区猿猴橋町の越後酒房八海山にて開催され総勢22名が参加した。

開会にあたり、大坪宏支部長の挨拶が行われた。

来賓として、森本慎樹専務理事が紹介され挨拶をいただき、林優美氏の乾杯の音頭で、にぎやかな宴会が始まった。

美味しい料理に舌鼓を打ちながら、酒を酌み交わし、会員同士の親交を深めた。

平尾前支部長、松原前副支部長、2年間お疲れ様でした。ありがとうございました。今後とも、宜しくお願い致します。

定時となり、閉会の挨拶を角田達彦氏が行い、参加者一同で記念撮影をしてお開きとなった。

(執筆者：引地渉)



参加した西区支部会員

ちょっとイイ話



耳寄り情報

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にしていただけたら幸いです。

- ・外傷で T-FIX しているにもかかわらず、暫間固定(簡単なもの)200 点で算定し脱臼等の病名がないケースがありました。外傷歯の暫間固定は(困難なもの)500 点で算定し、実態に即して適切な病名を付けていただくようお願いいたします。
- ・咬合調整を実施するも算定のないものがございました。実態に即した算定をお願いいたします。
- ・顎関節症症例で、顎関節症のみの病名のものがございました。左側顎関節症、右側顎関節症等部位がわかる病名記載をお願いいたします。
- ・1-P 急発病名のみでパノラマレントゲンを算定してあるケースがございました。パノラマレントゲンは必要性を考慮したうえで算定していただくようお願いいたします。



大井手和久 理事

広島市歯科医師会 総務部ニュースレター

医院の仕舞い方 ～ 令和の歯科医師・終活のススメ ～

「いつまで現役で働き続けるか…」 「うちは跡取りもいないし、どうしようか…」 ——こんな声を耳にすることもあるかと思います。歯科医院の経営は、始めるときよりも“終わらせ方”や“次の世代へのつなぎ方”のほうがずっと難しいとも言われます。しかし、だからこそ早めに「引き際」を見据え、準備を始めることが、患者さん、スタッフ、そして家族にとっても安心につながるのではないのでしょうか。

歯科医師は他の職種に比べて自由度が高く、「引退のタイミング」は非常に個人差が大きいのが現実です。日本の開業歯科医師における平均的な引退年齢は70代がボリュームゾーンと推定されており、健康状態や家族構成、医院の立地によっても前後すると思います。アメリカでは米国歯科医師会(ADA)の調査によると、歯科医師の平均引退年齢は2021年時点で約69.2歳となっており、2001年の64.7歳から上昇傾向にあります。これは、医療技術の進歩や働き方の多様化により、「引退後も一定期間、何らかの形で歯科に関わり続ける」という意識が強まっていることを示唆しています。

歯科医院の終活には、主に4つの選択肢があると言われています。

一つ目は「閉院する」という選択。地域や医院の規模によっては、無理に継がせたり売却したりするのではなく、きちんと患者さんやスタッフに説明し、円満に医院を畳むのも立派な終活の形です。閉院に向けては、理想的には半年～1年程度、時間を掛けて準備を進めることが望ましいとされています。建物の取り壊しやテナントのスケルトン化にもある程度のお金が掛かります。金銭的な余裕も持っておきたいものです。

次に、「継承する」方法があります。ご子息や長年勤務した代診の先生にバトンを渡すスタイルですが、「急に全部任せる」やり方ではなかなかうまくいきません。計画的な引き継ぎが必要であり、診療理念の共有、経営の基礎、保険制度や法務に関する理解など、段階的な指導と伴走が欠かせません。この場合、税務・法務面では専門家のサポートを受けることが重要になります。そして関わるスタッフさんの立場を第一に考えて、「人間関係も良好なまま継承」が望ましい姿でしょう。

三つ目の選択肢は、近年急増している「M&A(第三者への医院譲渡)」による出口戦略です。かつては大規模な医院だけが対象とされていたが、現在では、立地や設備がある程度整っていれば、小規模な個人医院でも買い手が見つかる場合もあります。「どうせウチなんて…」と諦めず、早めに信頼できる専門家や仲介業者に相談してみると、思わぬ形で院長の想いや患者さんを引き継いでくれる相手が見つかる可能性もありますし、ちょっとした退職金を受け取れることになるかもしれません。

そして最後に、最近注目されているのが「フェードアウト型」と呼ばれるスタイルです。これは、医院経営からは引退しつつも、非常勤勤務や訪問歯科などで診療を続ける形です。例えば、医院を譲渡・閉院したあと、どこかの歯科医院に週1～2回勤務する、あるいは在宅歯科診療にスポットで関わるなど、身体的・精神的な負担を抑えながら“現役感”を保つ、いわばソフトランディング的な引退スタイルです。今後、人生100年時代を迎えるなかで、こうしたスタイルがさらに一般化していく可能性もあります。

どの選択肢を選ぶにしても、最も重要なのは「まだまだ先の話」と棚上げせず、今から少しずつでも考え始めることです。医院の終活とは、単なる事業承継ではなく、歯科医師としての人生をどう終えるかという“生き方”そのものです。焦る必要はありませんが、備えることは必要です。自分にとっての理想的な引き際とは何か。それを考えることは、患者さんやスタッフ、家族に対する責任を果たすことにもつながるのではないのでしょうか。信頼できる先生、業者や専門家と対話を重ねながら、自分に合った着地方法を見つけ、最後まで誇りある歯科医師人生をまっとうしていききたいものです。



河島紘太郎委員

口腔がんアルミノックス治療

数年前に有名歌手の方が舌がんと診断され多くのメディアで取り上げられ、それ以降来院される患者からの問い合わせも多くなったのではないかと思います。当院では検診で来院される患者や通院中の患者でも軟組織のチェックは衛生士とも必ず行うようにして、何か気になることがあれば記録し、必要に応じて精密検査の依頼をしています。そんな中今年来院された患者に軟組織異常が見つかり、精密検査を受けていただいたところ悪性腫瘍と診断されました。その患者は高次医療機関で適切な治療を受け、現在は再び当院で定期検診を行っています。今私にできることは病気の早期発見と早期治療につなげるための紹介とっていますが、現在のがん治療についても色々と調べてみようと思ったのが、この記事を書くきっかけとなりました。

悪性腫瘍に対する治療としてアルミノックス治療というものをご存知でしょうか。

がん細胞の表面に多く発現する特定のタンパク質に結合する薬剤「アキラルックス®」を静脈投与した後、専用の医療機器「BioBlade®レーザー照射システム」によってレーザー光を照射することで、薬剤が活性化し、がん細胞のみを選択的に死滅させるという、極めて選択性の高い治療法だそうです。対象となるのは、標準治療(手術・放射線治療・化学療法)が終了した後、あるいは標準治療の適応が困難な「切除不能な再発口腔扁平上皮がん」の患者です。アルミノックス治療は高度な医療技術と設備を要し、実施施設や治療医には厳格な承認基準が設けられています。術者は「口腔がん専門医」または「頭頸部がん専門医」の資格を有しさらに「アルミノックス治療認定医」であることが必要で、日本では2023年に東京医科大学病院 歯科口腔外科・矯正歯科にて行われ、がん治療の一つの選択肢として期待されています。

以下、アルミノックス治療の機序について簡単に説明します。

治療の仕組み

1. 薬剤の投与:点滴で「アキラルックス®」という薬剤を投与します。この薬剤は、頭頸部がん細胞の表面に多く存在する「EGFR」というタンパク質に特異的に結合する「抗体」と、光に反応する「色素」で構成されています。
2. レーザー光の照射:薬剤ががん細胞に十分結合するのを待って、特定の波長のレーザー光を照射します。
3. がん細胞の破壊:レーザー光が薬剤の色素に反応することで、がん細胞の細胞膜に傷がつき、がん細胞が膨張・破裂して死滅します。正常な細胞には薬剤がほとんど付着しないため、ダメージは受けず、副作用を抑えられます。

主な特徴と適応

対象となるがん:切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部がん(舌がん、喉頭がん、咽頭がん、鼻・副鼻腔がんなど)。

特徴:がん細胞のみを選択的に破壊するため、正常組織への影響が少ない。

体への負担が少なく、年齢や体力に制限されずに治療を受けやすい。

治療効果によって4週間程度の間隔をあけて、繰り返し治療を行うことが可能です。

引用・参考文献:1) 厚生労働省健康局がん・疾病対策課 「平成31年全国がん登録 罹患数・率 報告」付表1. 罹患数 口唇、舌根<基底>部、その他および部位不明確の舌、歯肉、口腔底、口蓋、その他および部位不明確の口唇の合計値

2) 国立がん研究センター がん情報サービス「口腔・咽頭」



楠橋由規委員



広島市歯科医師会会員紹介

厚生部では会員の相互の認識を深めるべく、新入会員の先生を中心にインタビューを行い、その内容を記事にまとめさせていただいております。今回も新入会員の先生をインタビューさせていただきました。

Q1. まずは先生の自己紹介をお願いします。

森宗 こころ(モリムネ ココロ)と申します。

広島県世羅郡出身です。福山暁の星女子高等学校を卒業し、中高ともにソフトボール部に所属しておりました。現在は、歯科医師会中区支部のソフトボールチームに所属し、今度の大会に向けて練習しているところです。プライベートでは、美味しいものを求めて外食するのが好きで、特に友人と新しいお店を探すのが楽しみです。



森宗こころ委員

Q2. 先生が歯科医師を目指したきっかけを教えてください。

幼い頃から医療に興味があり、矯正治療などで歯科医院に通う機会が多かったことがきっかけです。「口」に関わる仕事は、私の好きな「食べること」と直結していて、自分の性格や興味にも合っていると感じ、歯科医師を志しました。

Q3. 子供の頃に歯科医師以外でなりたかった職業があれば、その理由も一緒に教えてください。

医療全般に関心があったので、特に医師になりたいと思っていた時期がありました。

Q4. 先生の仕事の息抜きを教えてください。

美味しいものを食べる外食が一番の息抜きです。また、スポーツ観戦も好きで、時間があれば応援に行ったりテレビで観たりします。

Q5. 歯科医師会に入って良かったこと。歯科医師会でやってみたいことがあればお願いします。

良かったことは、知識のアップデートと、他の先生方とのネットワークができたことです。研修や勉強会で学ぶだけでなく、交流を通じて、診療の幅が広がりました。写真は、今所属させていただいている広報部の皆さんとのものです。今後は、広報部ということも活かして、皆さんに面白いと思っていただけるような企画を計画できるように頑張りたいと思います。



右から三番目 森宗こころ氏

Q6. 最後に 30 年後(もしくは 70 歳)の自分にメッセージをお願いします。

30年後…たぶん現役は引退しているかもしれませんが、これまで出会った患者さんや地域の方々に、心から納得してもらえる治療をしてきたかどうか、自分自身に胸を張れるかが気になるところです。美味しいものを愛する気持ちは変わらず、好奇心を失わず、健康で毎日を楽しめていたら嬉しいなと思います。あとは、ゴルフのスコア…100を切っていることを願っています(笑)



インタビュアー：八谷文貴

先生ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより 1 ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

～ハハ姉妹の学校ニュース《30 時間目》「カミング 30(ひ・み・こ・の)」～



ハハ姉妹の学校ニュース
デジタル版《30時間目》
広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

カミング30 (ひ・み・こ・の)

食事のときによくかんで食べると、どんな良いことがあるのでしょうか。
かむ8大効用として学校食事研究会が「**卓弥呼の歯がよいぜ(ひ・み・こ・の・は・が・い・ぜ)**」という標語をつくりました。
どのような効用があるか今回と次回の2回に分けて解説します。まずは前半の「ひ・み・こ・の」からみていきましょう。

ひ 肥満の予防



よくかんで食べると、
脳にある満腹中枢が働いて
食べすぎを防ぎます。

み 味覚の発達



よくかんで味わうこと
により、食べ物の味が
よくわかります。

こ 言葉を正しく発音



よくかむことで口周り
の筋肉を使うため表情
豊かになり、発音もき
れいになります。

の 脳の発達



よくかむ刺激は脳細胞の働きを
活発にします。子どもの知育を
助け、高齢者の認知症予防にも
役立ちます。

歯医者さんからのメッセージ

カミング30は、ひと口30回以上かむことを目標とした運動です。かむことで様々な良いことがあります。お口だけではなく、全身の健康のためにもよくかんで食事をしましょう。



8020
80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう

野坂寛先生

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変してください。

※今回は地域歯科保健部 野坂寛 氏 他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDF は下記 URL または QR コードよりダウンロードしてください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



会員ひろば

新入会員紹介



神人友樹

広島市歯科医師会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
このたび、広島市歯科医師会に入会いたしました神人友樹と申します。
九州歯科大学を卒業後、広島大学にて臨床研修を終了し、東京および広島の歯科医院にて勤務してまいりました。
このたび、医師である父および妹の移転開業に伴い歯科医院を併設して開業させていただく運びとなりました。
微力ではございますが、地域医療に貢献できるよう精一杯努めてまいります。
入会に関しまして、多くの先生方にご指導・ご助言を賜り、心より感謝申し上げます。
今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より ―こんな医療トラブルが起こっています―

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：新製後の義歯破損について

作製した義歯が、食事中に破損し修理した。「数か月で破損するような義歯に修理費用を請求するのはおかしい」と感じ納得していない。

(センターの対応)

保険のルールに従った対応であることを説明したうえで、第三者的な意見を得るため、歯科医師会での相談を提案した。

(コメント)

作製から短期間での義歯の破損は、患者の使用状況・咬合力・習癖・適合状態など、複合的要因が影響する場合があります。また装着後の破損等については保険診療で対応可能ですが、保険に定められた修理費用が別途発生することを事前に説明する様心がけましょう。

事例2：医療費の領収書発行に関すること

治療費をクレジットカードで支払い、診療報酬明細書は発行されたが、領収書の発行はしてもらえなかった。カード支払いの時は、領収書を出すことはできないと言われたが、領収書の発行についての公式な文書を確認したい。

(センターの対応)

領収書の発行は医療機関の義務であることを説明し、「医療費の内容の分かる領収書及び個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書の交付について」(令和6年3月5日保発0305第11号)の文書を紹介した。

(コメント)

支払い方法に関わらず「レセプト電子請求が義務付けられた保険医療機関について、領収証を交付するに当たっては明細書が無償で交付しなければならない」とされていますので、各医院で該当の通達を再確認するようにしましょう。

地域歯科保健部

アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業へのご協力について

アウトリーチ型オーラルフレイル予防事業は国の施策である「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の一環として、行政広島市が広島県歯科衛生士会に委託して令和4年度から始められたものです。

本事業は、地域の通いの場等において歯科衛生士が歯科疾患の予防や口腔機能の維持・向上に関する健康教室や相談を行うポピュレーションアプローチと、そこから見つけ出されたハイリスク者に対して歯科医療機関への受診勧奨や短期集中通所口腔ケアサービスにつなげるハイリスクアプローチがあり、オーラルフレイルの予防に取り組んでいます。

本事業では、主に地域の歯科診療所に非常勤で勤務している歯科衛生士が、勤務時間外に従事しています。つきましては、本事業の趣旨目的と重要性を御理解いただき、勤務歯科衛生士が本事業に従事したい旨を申し出た際には、支障のない範囲で(勤務時間外に)従事できますよう、格別の御配慮をお願いいたします。

高齢者いきいき活動ポイント事業に関するお願い

歯科医院でのポイント付与は70歳の節目年齢歯科健診と後期高齢者歯科健診(75歳)が対象となっており、健診をされた方には2ポイント(200円)の奨励金が広島市から支給されます。協力歯科医の皆様におかれましては、患者さんから要求があった際、対象の健診をされたことを確認の上、スタンプを押印していただくようよろしくお願いいたします。また、自院の登録状況は広島市のホームページからご確認することが出来ます。スタンプを紛失した場合は再度申請書の提出が必要になりますので下記までお問合せください。

【お問い合わせ先】

広島市 健康福祉局高齢福祉部 高齢福祉課 管理係 Tel : 082-504-2143

(自院がポイント事業に参加しているかどうかの確認)

ポイント事業に参加している活動団体・医療機関・薬局
ページ番号1011025

<https://x.gd/Vyyxc>



(スタンプの申請書)

医療機関・薬局の方へのご案内

ページ番号1011023

<https://x.gd/uEh9z>



*それぞれ広島市公式サイト (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/>) の「検索」からページ番号を検索してもたどり着けます。

広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の QR コードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

高齢者における口腔内状態が良好な人の口腔フローラが判明 花王株式会社

<https://www.whitexcross.co.jp/articles/view/3706>

花王の研究グループが高齢者の口腔フローラを解析し、健康な高齢者は硝酸還元菌を豊富に含む独自のフローラを有していることを明らかにしたと報告した。研究対象 163 名を「健常群」と「軽度歯周病群」に分類して比較した結果、軽度歯周病の段階で、すでに健常者とは異なるフローラが形成されていることが判明した。特に健常な高齢者では Neisseria 属などの硝酸還元菌が多く、一酸化窒素の産生を通じて、う蝕菌や歯周病関連菌の増殖を抑制し、長期的に口腔の健康維持に寄与している可能性が示された。この結果により、従来の「殺菌」によるプラークコントロールに加え、硝酸還元菌の比率を高めることで健



康な口腔フローラの形成を促すという、新たな視点でのケアが重要である可能性が示唆された。

考察

これまでは病原菌を殺菌、除去するという考え方が主流でしたが、今後は口腔内フローラ全体のバランスを意識するということが重要になってくるかもしれません。しかし、多数ある常在菌の中から特定の菌だけを殺菌するというのは難しいようにも思います。健康な口腔フローラ形成を助けてくれる新しいオーラルケア製品の開発に期待したいです。



佃文蔵委員

iPS細胞から顎の骨再現＝再生医療や創薬に期待—京都大

<https://medical.jiji.com/news/60544>

ヒトの iPS 細胞(人工多能性幹細胞)から顎の骨組織を立体的に再現することに、京都大 iPS 細胞研究所の研究グループが世界で初めて成功した。マウスに移植したところ、成熟



した骨組織が形成され、将来的に再生医療や創薬への応用が期待できるという。論文は7月、国際科学誌ネイチャー・バイオメディカル・エンジニアリング電子版に掲載された。

研究グループは、ヒトの iPS 細胞を集めて立体的に培養し、顎の骨細胞のもととなる細胞群を作製。培養を進めたところ、米粒状の白い塊(直径 1.0~1.5 ミリ)が形成され、内部で石灰化が起きていることを確認した。

さらに、マウスの下顎に穴を開け、ヒト iPS 細胞由来の骨組織を移植すると、4 週間後には血管が入り込んで穴がふさがれ、通常の移植と同等の骨が形成された。

同研究所の本池総太特命助教(歯学)は「歯周病やがんで失われた顎骨の再生医療、疾患モデルを使った治療薬の開発につなげたい」と話している。

考察

新たな再生治療のための研究が進むことは、今後歯周再生治療や、悪性腫瘍などによる顎骨の広範囲欠損に対する画期的な治療に多大な影響を及ぼすと思います。

臨床現場に実用化されるまではまだまだ多くのハードルが存在すると思いますが、是非とも将来的に実用化されるレベルの研究成果が出ることを期待します。



浅野真弥委員

【研究成果】「口腔セネストパチー」の対処行動が脳活動を変化させるメカニズムを解明 福岡歯科大学

<https://d.fdcnet.ac.jp/news/archives/425>

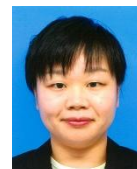
福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野の梅崎陽二郎准教授と東京科学大学歯科心身医学分野の豊福明教授らの研究チームは、歯科心身症の1つである「口腔セネストパチー(Oral Cenesthopathy)」の患者さんにおいて、自覚症状が一時的に緩和する「対処行動(coping behavior)」を行った際の脳血流変化をSPECT検査で解析した。その結果、ガムを噛む・水を飲むなどの「対処行動」で自覚症状が緩和している時には、もともと確認されていた右側優位の脳血流(regional cerebral blood flow: rCBF)の左右差がむしろ拡大するという、従来報告されてきた治療によって左右差が解消するという傾向とは逆の脳活動の変化が確認された。この研究成果は、国際学術誌Frontiers in Psychiatry(2025年9月)に掲載された。



本研究は、自覚症状の緩和が必ずしも「病的脳活動の正常化」とは限らず、異常な感覚状態に適応するための二次的な脳活動である可能性を示した。また、紡錘状回や海馬傍回など高次の視覚情報処理に関わる領域が活性化しており、患者さんが口腔内の「異物感」をリアルに図示できる現象と関連している可能性を示した。

考察

対処行動自体は否定されるものではありませんが、漫然と対処行動を繰り返すだけでは治療的改善につながらない可能性があります。また、口腔セネストパチーの患者さんでは、口腔内の感覚異常が視覚情報と類似した処理過程で生じている可能性が示され、今後のより詳しい病態解明へとつながる事を期待したいです。



森宗こころ委員

よだれが止まらない「慢性流涎」～生活に支障、社会的孤立も～

https://medical.jiji.com/topics/4007#google_vignette

よだれが止まらず、困っている大人がいる。慢性流涎(りゅうぜん)という病気で、会話や食事がしづらくなったり衣服が頻繁に汚れたりし、日常生活に支障が出る。他人との接触をためらい、社会から孤立するケースもある。治療法はリハビリテーションなどが中心だが、このほど唾液の量を減らす薬が国内で初めて承認され、新たな選択肢が加わった。

順天堂大学の服部信孝学長補佐(特任教授)によると、人が1日に分泌する唾液は1~1.5 リットルで、通常は就寝中を含め無意識のうち飲み込んでいます。飲み込む量が減って分泌量を下回るようになると、口からあふれ出る。こうした状態が続くのが慢性流涎だ。国内の患者数



は推定18万~38万人。脳や筋肉、神経の機能に異常が生じる「パーキンソン病、脳卒中、脳性まひ、筋委縮性側索硬化症(ALS)が原因で発症する例が多い」という。

パーキンソン病の患者を例にとると、進行期に発症するケースが目立つ。唾液を飲み込む回数が減少したり、姿勢を保てずに体が前に傾いたりし、よだれが出やすくなるとみられる。

考察

慢性流涎は神経や筋の障害によって発症することが多いが、歯科領域とも密接に関わっています。ドライマウスが問題になっていますが、唾液の過剰分泌も本人のQOL を低下させると考えられ、また義歯や補綴物の不

適合、噛み合わせの不良が舌や口唇の運動を妨げ、唾液コントロールを困難にすることもあります。加えて口腔リハビリテーションによる嚥下訓練や舌・口唇の運動療法は、歯科が実務的に寄与できる領域と考えられます。

慢性流涎の治療選択肢が広がる中で、歯科は医科と連携し、口腔機能の維持・改善を通じて患者の生活の質向上に貢献する役割を担っているのではないのでしょうか。



小林裕子副委員長

【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



8月6日放送分

「神経を取った歯はどうなるの？」

中川誠氏

<https://x.gd/QvJ36>



8月20日放送分

「『嚥ミング30』を知っていますか」

濱岡代枝氏

<https://x.gd/1XLUz>



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」今だけここだけキューアップ 第1・3水曜日午前9時30分から

10月1日放送分

乳歯の役割と虫歯の予防法

岡田浩幸氏



乳歯は生え変わるから虫歯になっても大丈夫と思っていないませんか。乳歯には子どもの体の発育、発達のためにとても大切な役割があります。80歳までに20本以上の歯を残すためには乳歯の時期からのケアが重要です。今回は、乳歯の役割や乳歯の虫歯の特徴、虫歯の予防法について、歯科医師の岡田浩幸さんがお話しします。

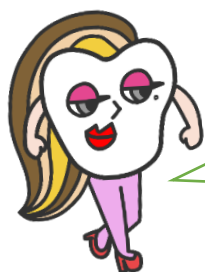
10月15日放送分

歯を無意識に接触させる癖

岡崎文彦氏



TCH(Tooth Contacting Habit)をご存じでしょうか。これは日中、食事などで口を使う以外の時に、無意識に上下の歯を接触させてしまう癖のことです。食いしばりや歯ぎしりとは異なります。日本人の約6割に経験があるというデータもあります。今回は、TCHによって起こる症状や歯の変化、改善方法について、歯科医師の岡崎文彦さんがお話しします。



公式スタンプよろしくお願いします！



笑門來福

お隣

瓜生 賢

昔から「お隣同士」というのはなんとなくしっくりいかないことが多い、というのが世の習いでございます。日本と韓国、中国とベトナム、フランスとドイツ、洋の東西を問わず隣国同士というのはなんだかんだ諍いが起こりがち。もちろん、表立って対立することはそうそう無いにしても、なんとなく快く思っていない、そんな関係が多いのではないのでしょうか。国内においても静岡・山梨とか、同じ県内でも青森の津軽・南部とか、俗に仲が悪い、対立していると認識されている地域もありますよね。

しかし翻って、大きな組織単位ではなく個人個人で考えてみると、向こう三軒両隣という言葉があるように、我々日本人はご近所付き合いを大切にしてきました。近頃は同じマンションの隣の部屋に住んでる人が誰なのかもよくわからない、なんてことも珍しくなくなりましたが、住宅地で町内会が機能しているようなところではまだまだご近所の付き合いというのは昔ほどではないにせよ、そこまで希薄にもなっていないと思います。近いが故のトラブルもあるけれど、そこはお互い様だよ、助け合いが大事だよ、というのが日本人の基本的スタンスであろうと思います。そしてそれが集団・組織になると個人対個人とはまた全然違う感情が湧き上がってくるのがまた不思議なところですね。

さて、毎年秋に行われる「指定都市歯科医師会役員連絡協議会」は人口規模や会員数が似通っている所謂「政令指定都市」の歯科医師会役員の協議体ですが、同じような事業を実施していても、その方法や費用、行政との折衝などはそれぞれ異なっており、毎年一堂に会し各歯科医師会が抱える問題をざっくばらんに協議しています。そのなかでも広島市と岡山市はまさに「お隣」であり、お互い参考にすべきところがたくさんあるな、というのは以前から感じておりました。

そこで、広島市と岡山市は更に密に連携していこうじゃないか、ということで、この春に「広島市・岡山市歯科医師会役員連絡協議会準備委員会」を実施し、先月第一回の協議会を開催することができました。岡山市から執行部三役が広島を訪ねてくださり、広島市側は三役+協議題の担当理事が出席し、実り多い協議ができたと思います。これからは年に一度、シャトル外交よろしくお互いが行ったり来たりしながら議論を交わし、より良い関係を構築していきたいと思います。今月末には名古屋市で十四指定都市歯科医師会役員連絡協議会が開催されます。岡山市との協議を土台に、こちらでもしっかりした協議を行い、会員の先生方へ少しでも還元できればと考えています。

9 月定例理事会報告

「部外報告」

8月30日	広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
〃	広島市歯科医療福祉対策協議会総会
9月4日	社会保険診療報酬支払基金再審査
〃	新規個別指導立会(2名)
〃	(県歯)会員サポート室会議
〃	(県歯)理事会
9月6日	第1回広島市・岡山市歯科医師会役員連絡協議会
9月13日	(県歯)中国・四国地区歯科医師会連合会役員連絡協議会(高松)
9月17日	広島県国保連合会歯科再審査部会
9月18日	(日歯)第206回臨時代議員会
〃	新規個別指導立会(2名)
9月18日	広島県国保連合会歯科審査部会
9月23日	社会保険診療報酬支払基金審査
9月24日	【Web】アース製薬商品説明会

(連盟関係)

「総務関係」

9月6日	B型肝炎ワクチン接種(第1回)
9月11日	広報部納涼会
9月13日	東区支部懇親会
〃	西区支部納涼会
9月19日	三役会
〃	広島市歯科医師会第1回学術講演会
9月24日	定例理事会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

8月29日	東区支部 植田淳二先生入会
〃	東区支部 神人友樹先生入会
9月8日	入会後面談(神人友樹先生)
〃	入会後面談(植田淳二先生)
〃	入会前面談(橋本佳樹先生)

(県歯理事会関係)

9月4日	(県歯)理事会
------	---------

(1) 総務部 (大井手理事)

8月30日	広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
〃	広島市歯科医療福祉対策協議会総会
9月2日	休診レセプト点検
9月3日	定例委員会
9月8日	入会後面談(神人友樹先生)
〃	入会後面談(植田淳二先生)
〃	入会前面談(橋本佳樹先生)
9月11日	(県歯)税務指導者協議会

(2) 学術部 (花岡理事)

9月12日	定例委員会
9月19日	広島市歯科医師会第1回学術講演会

(3) 厚生部 (横村理事)

9月2日	定例委員会
9月10日	(県歯)福祉厚生・育成部 常任委員会

(4) 地域歯科保健部

8月30日	広島市歯科医療福祉対策協議会役員会
〃	広島市歯科医療福祉対策協議会総会
9月19日	定例委員会

<地域保健> (土屋理事)

8月28日	第1回広島市障害者差別解消支援地域協議会
9月3日	在宅医療に取り組む医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師等)の裾野を広げるための普及・啓発(同行研修等)同行研修説明会
〃	(県歯)令和7年度8028達成者表彰二次審査
9月4日	第1回広島市・岡山市歯科医師会役員連絡協議会
9月9日	(県歯)地域保健部常任委員会
9月11日	南区地域ケアマネジメント会議

<学校保健> (濱岡理事)

<地域連携> (中川理事)

8月28日	第1回広島市地域包括支援センター運営協議会
9月3日	在宅医療に取り組む医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師等)の裾野を広げるための普及・啓発(同行研修等)同行研修説明会
9月10日	【Web】広島市在宅医療介護連携推進委員会「専門職に対する認知症医療・介護連携の普及・啓発の検討専門委員会」
9月11日	南区防災医療介護連携委員会
9月16日	広島市在宅医療介護連携推進委員会「摂食嚥下口腔ケア対応力の向上に向けた多職種連携の体制づくりの検討専門委員会」
9月22日	南区在宅医療介護連携推進委員会医療機関・介護サービス事業所情報の収集整理・活用促進第1回企画会議

(5) 広報部 (小島理事)

9月2日	校正委員会(だより9月号)
9月10日	外部委員会(納涼会)
9月26日	FMちゅーピー収録

FMちゅーピー (放送日)

10月1日	「乳歯の役割と虫歯の予防法」 岡田浩幸 氏
10月15日	「歯を無意識に接触させる癖」 岡崎文彦 氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 不明
ページビュー 不明
会員サイト 訪問者 不明
ページビュー 不明
LINE 公式アカウント 登録者数 9月18日 197名

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 選挙管理委員会

(10) 各部事業計画について

(11) 歯科医療安全相談

9月16日 相談 歯科衛生士の対応について
(60歳女性)

「協議事項」

- (1) 入会について (1名)
中区支部の橋本佳樹氏の入会について承認
- (2) クリスマスパティーについて
内容について協議
- (3) 新年互礼会について
内容について協議
- (4) カーブ歯科健診について
内容について協議
- (5) 損保ジャパンイベント協力について
内容について協議・断ることに決定
- (6) その他

「その他」

特になし

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

をお願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: kojima.d.c@icloud.com



LINE 公式アカウント
友達募集中！

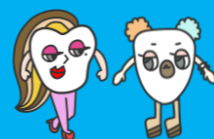


「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。

広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



今までの配信内容

7月15日配信 第27回参議院議員通常選挙に係るお願い

9月17日配信 広島県健康福祉局より個人防護具の無償配布についての通知

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。